

電波時計 取扱説明書

(デジタル掛置兼用時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製品名 リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12

https://www.rhythm.co.jp

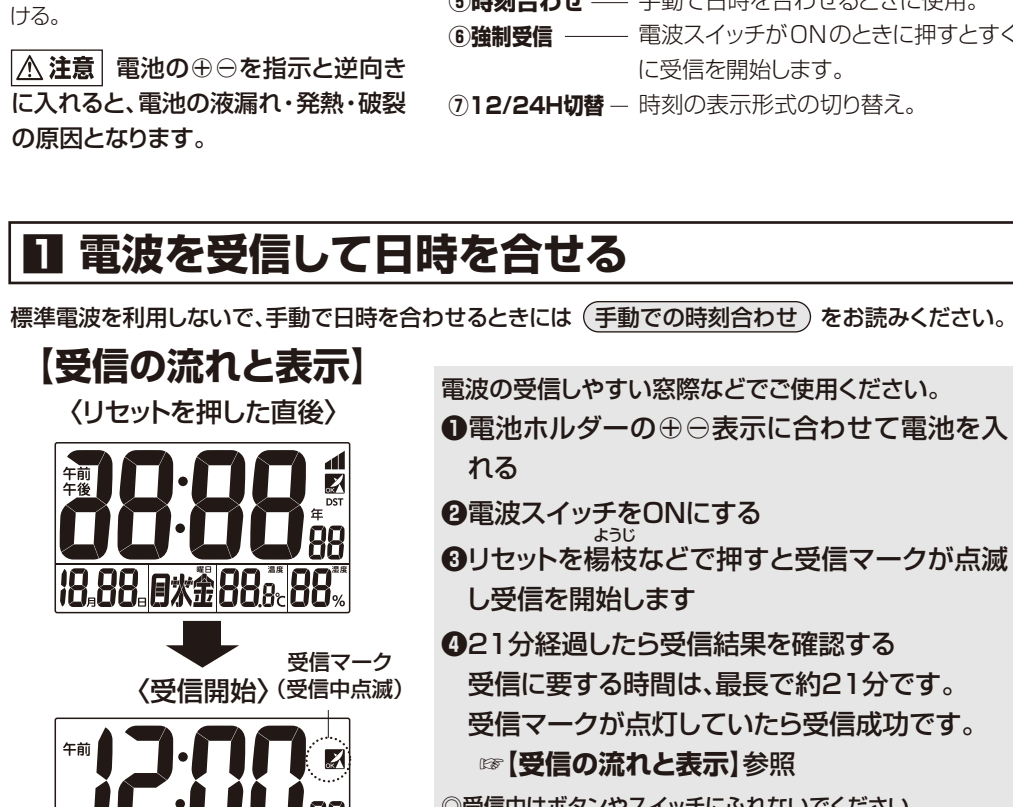
CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

ご使用の際は、巻末の「使用上のご注意」を必ずお読みください

電池は付属しておりません。単3形アルカリ乾電池を2個をご用意ください。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。



- ①電波スイッチ — 標準電波受信機能のON/OFFを設定。
②戻る — 手で日時を合わせるときに使用。
③進む — 操作 押してすぐ離す 押し続ける
戻る 1つ戻る 早戻し
進む 1つ進む 早送り
- ④リセット — 押すと2007年1月1日、午前12:00に設定される。電波スイッチがONのときは、受信を開始する。
リセットは、細い棒でつつき押ししてください。
- ⑤時刻合わせ — 手で日時を合わせるときに使用。
⑥強制受信 — 電波スイッチがONのときに押すとすぐに受信を開始します。
⑦12/24H切替 — 時刻の表示形式の切り替え。

電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手で日時を合わせるときには「手動での時刻合わせ」をお読みください。

【受信の流れと表示】
(リセットを押した直後)

電波の受信しやすい窓際などでご使用ください。

①電池ホルダーの◎表示に合せて電池を入れる

②電波スイッチをONにする

③リセットを楊枝などで押すと受信マークが点滅し受信を開始します

④21分経過したら受信結果を確認する

受信に要する時間は、最長で約21分です。

受信マークが点灯していたら受信成功です。

【※】「受信の流れと表示」参照

◎受信中はボタンやスイッチにふれないでください。

アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、受信できなかつたり、誤った日時を表示することがあります。場所を変えてリセットを押して再度受信を試みてください。

チェック！

1〜2分経過しても受信マークが①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットを押して再度受信を開始してください。

受信マークの変化

電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)

受信できない 受信しやすい

①受信終了 ②受信成功

③受信成功

④受信成功

⑤受信成功

⑥受信成功

⑦受信成功

⑧受信成功

⑨受信成功

⑩受信成功

⑪受信成功

⑫受信成功

⑬受信成功

⑭受信成功

⑮受信成功

⑯受信成功

⑰受信成功

⑱受信成功

⑲受信成功

⑳受信成功

㉑受信成功

㉒受信成功

㉓受信成功

㉔受信成功

㉕受信成功

㉖受信成功

㉗受信成功

㉘受信成功

㉙受信成功

㉚受信成功

㉛受信成功

㉜受信成功

㉝受信成功

㉞受信成功

㉟受信成功

㊱受信成功

㊲受信成功

㊳受信成功

㊴受信成功

㊵受信成功

㊶受信成功

㊷受信成功

㊸受信成功

㊹受信成功

㊺受信成功

㊻受信成功

㊼受信成功

㊽受信成功

㊾受信成功

㊿受信成功

電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
- 場所を変える／受信をやり直す
- 時刻に合わせて使用する

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手で日時を合わせて使用してください。

※電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ …… 電波が受信できないときや任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定してください。

年月日、時刻(時、分)でのボタン操作

操作例. 2017年12月25日 午前10:37に合わせる

①時刻合わせを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続ける。

②年を進むまたは戻るを押して合わせて、時刻合わせを押す。

③月を進むまたは戻るを押して合わせて、時刻合わせを押す。

④日を進むまたは戻るを押して合わせて、時刻合わせを押す。

⑤時を進むまたは戻るを押して合わせて、時刻合わせを押す。

⑥分を進むまたは戻るを押して合わせて、時刻合わせを押す。

⑦分を分を合わせているときに、進むまたは戻るを押すたびに「00」秒に設定されます。

⑧時刻合わせが終わりました。

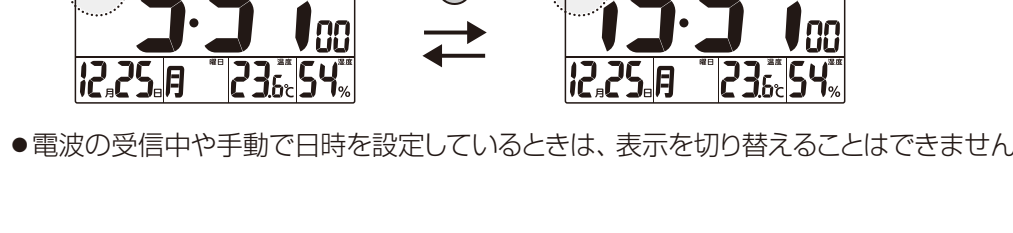
時計の設置

掛ける 注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。
- 掛けて使用するときはスタンドをさき取り収納してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

- 石こうボードやコンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

置く

置いてご使用になるときには、スタンドを図のようにしてください。

※無理な荷重を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。

※水平で振動などが少ない安定したところに設置してください。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

受信機能 OFF(無効にして手動で日時を合わせる) 受信機能 ON(有効にして受信を開始する)

電波スイッチをOFFにしてください。 電波スイッチをONにして、リセットを押してください。受信を開始します。

○日時は手動で合わせてください。 ○標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

強制受信とリセット操作

強制受信 リセット

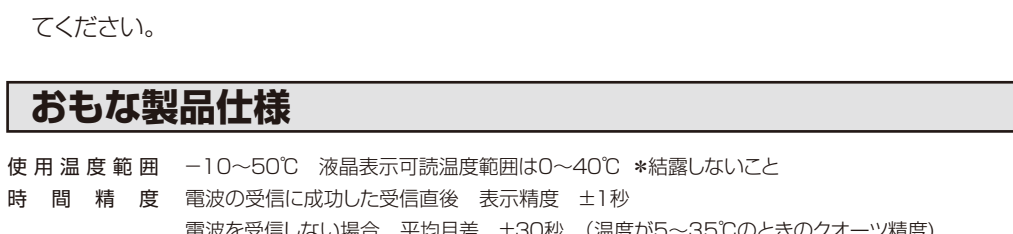
設置場所を移動したときなど、電波の受信を試みたいときに押します。受信に失敗しても継続して日時を表示します。

○手動で時刻合わせをしているときは機能しません。 ○電波スイッチがONのときは受信を開始します。

- 電波スイッチがOFFのときは、強制受信またはリセットを押しても受信を開始しません。

時刻表示の切り替え

12/24H切替を押すと時刻の表示形式が切り替わります。



- 電波の受信中や手動で日時を設定しているときは、表示を切り替えることはできません。

ソーラー発電と電池について

この時計は、ソーラー発電を併用することにより、電池の寿命を長くしています。

200ルクス程度の明るさで、液晶の表示に必要程度の電力を発電し、電気の消耗を押さえます。

- ソーラー発電からの蓄電機能はありません。
- ソーラー発電のみでは動きません。必ず電池を入れてご使用ください。
- ソーラーパネルは室内用ですので、直射日光を浴びると劣化して発電効率が悪くなる場合があります。

【参考】照度環境の目安
150ルクス 一般的なリビング
300ルクス 明るいリビング内・オフィス
700ルクス 明るいオフィス
昼寝室や窓のない所では、十分な明るさや受光時間が不足することがあります。

注意 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や家具の修繕などに費用が発生することがあります。電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

次のような現象が起きたときは、電池を交換するか、電池を取り出す

- ぬい所で液漏れが薄くなる。 ●表示が消える。 ●電池を入れて5年を経過した。

電池を交換するときの注意

- 古い電池と新しい電池、マンガンとアルカリ電池を混ぜて使用しない。
- 長期間使用しますので、電池を交換するときは、電池に表示されている「使用推奨期間」が、交換する年より4〜5年先のものを使用する。

温度と湿度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度 [HHH] 50℃を超える高温 「LL」 -9.9℃未満の低温

湿度 [HH] 95%を超える多湿 「LL」 20%未満 「--」 測定不能(温度が5〜50℃の範囲外)

設置場所について

一般的な家庭やオフィス向けです。

直射日光の当たる浴室や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。

また、日光やサウナ、場所、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。

湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでます。

※厳密な湿度管理をする用途には適していません。また、湿度の証明や商取引には使用できません。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、表示が欠けたりして正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットを押してください。

お手入れについて

- 汚れひどいときは、水ですすめた中性洗剤や石けん水で、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、乾かしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的な汚れを落としてください。

時計、電池の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

おもな製品仕様

使用 温度 範囲 -10〜50℃ 液晶表示可読温度範囲は0〜40℃ ＊結露しないこと

時間 精度 電波の受信に成功した受信直後 表示精度 ±1秒

電波を受信しない場合 平均月差 ±30秒 (温度が5〜35℃のときクォーツ精度)

ソーラーセル 薄膜太陽電池

充電池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 2個

電池寿命 5年 ＊ソーラー発電 兼用

標準電波 標準電波受信による時刻修正

受信局 福島局／九州局自動選択

受信回数 自動受信回数 8回/日

受信ON/OFF あり

表示方式 LCD液晶

時刻表示形式 12時間/24時間切り替え

カレンダー 西暦2007〜2099年対応

温度表示 -9.9〜+50℃ 温度精度±2℃

湿度表示 20〜95%RH 湿度精度±10%RH(温度が5〜50℃のとき) ＊%RHは相対湿度を表しています

防滴防塵機能 なし

※ソーラーセルは室内用です。直接太陽光などの強い光を受けると性能が低下します。

※液晶表示は5年を超えると表示が薄くなる場合があります。

※液晶は0℃以下では表示が薄くなり、反応が遅くなったりすることがあります。また、40℃以上では表示が濃くなり、ムラに見えたりすることがあります。

※時計の電池寿命は、新たにおもな製品仕様の推奨電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 木ねじ 1個、保証書 1枚

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ◎は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
- 万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
- 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、電池について次のことを守る
- 傷をつけない。 ●充電しない。
- ショートさせない。 ●放電しない。
- 加熱しない。 ●火の中に入れない。
- 梱包用のポリ袋をかぶらない
- 窒息する恐れがあります。
- 下記のような場所では使わない
- 性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
- 直射日光が当たる所。
- 暖房器具からの風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。 ●ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 長時間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間に使う。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 金属製のピンやブラインドの近く
- ビルの中、戸の谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の電池は、形状的に本製品には不向きな場合があります。

(例) Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池 ※【EVOLTA】は、パナソニック株式会社の登録商標です。

電池の寿命について

- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。
- 買い置きした電池は、保管状態や電池の使用推奨期間により、電池寿命が短くなることがあります。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局」;おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局」;はか山標準電波送信所」の2か所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(https://jly.nict.go.jp)

※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でのご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製のビルやブラインドの近く
- ビルの中、戸の谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

- 修理部品の保有について
- 修理回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。
- 修理可能期間について
- 無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 リズム総合サポート https://rhythm.jp/support/

商品照会の際は、製品裏面または底面に「rhythm製品番号(型番)」をご確認ください。

例. 4MY000、4MYA00、8MY000、8MYA00

お客様相談室:0120-557-005 受付時間 9:00〜17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してもなんら責任を負いかねますのでご了承ください。